

国際金融都市 OSAKA 推進委員会 設立趣意書（案）

国際金融をめぐる情勢が大きく変化する中、国において、国際金融都市の確立を目指す動きが本格化している。「経済の血液」とも言われる金融機能の強化を図ることは、ポストコロナに向けた大阪経済の再生・成長を図るための新たな成長の柱の一つとなる。我が国では東京に株式取引をはじめとする金融機能が集積しており、大阪を国際金融都市とすることは、経済面における東京一極集中を是正する重要な取組みであり、大きな意義がある。

大阪は、歴史的に「先物取引発祥の地」として、世界で広く知られているなど進取の気風に富んだ都市である。また、万博開催都市として「未来社会の実験場」をコンセプトに掲げ、新たなアイデアの創造・発信に取り組んでいる。さらに、ライフサイエンス分野における企業や大学等の集積等を活かし、健康・医療関連産業の世界的なクラスター形成を進めている。イノベーションの創出に向けて、スタートアップ・エコシステムの「グローバル拠点都市」に選定されるなどのポテンシャルを有し、金融・商品のデリバティブを扱う国内唯一の総合取引所や、交通ネットワークなど充実した都市インフラ等も存在している。

これらの強みを活かし、フィンテック等の新たな金融技術への大胆な規制緩和による「革新的な金融都市」の実現や、魅力ある商品提供等による「アジアのデリバティブ市場をけん引する一大拠点」の創設に特化した取組みを推進し、大阪独自の個性と機能を持った国際金融都市を実現させる。世界中から大阪に投資を呼び込み、ビジネスチャンスを生み出すことで、日本の成長をけん引する東西二極の一極として、大阪のさらなる飛躍につなげていく。

こうした趣旨に賛同する行政機関、経済界、民間事業者等の総力を結集して、「国際金融都市 OSAKA 推進委員会」を設立し、国際金融都市の実現を目指す。

2020年12月23日

設立発起人

大阪府知事	吉村 洋文
大阪市長	松井 一郎
関西経済連合会会長	松本 正義
大阪商工会議所会頭	尾崎 裕
関西経済同友会代表幹事	深野 弘行
同	古市 健